

平良 董 Sumire Taira

アーティスト・ステイトメント

描いた人物画を印象的な線の重なりによって再構築する。

それにより作品が余白を持ち、見る人によってその印象を変える。

線の集積で出来上がった作品は近付いてみると、その形を崩し抽象絵画のような見え方をする。

展示会コンセプト

今回の展示では「存在の不確かさ」に視点を置きました。

近付くと輪郭は形としての存在がおぼろげになる。

不確かだからこそ美しいもの、広がる可能性をどうぞお楽しみください。

経歴

2000 大阪生まれ

2018 嵯峨美術大学 造形学科 油画・版画領域 入学

2022 嵯峨美術大学 造形学科 油画・版画領域 卒業

展示歴

2020 嵯峨美術大学油画版画領域選抜展『SAGA DASH 2020』/ArtSpace-MEISEI
第45回全国大学版画展/町田市立国際版画美術館

2021 第46回全国大学版画展/上田市立美術館

2022 第50回嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学卒業・終了制作展/京都市京セラ美術館
『Art Continuation Project 』/阪神百貨店ハローカルチャー

『CROSSOVER vol.38』/inバンコク

『呼吸展』/京都府立文化芸術会館

『Art Continuation Project Vol.2 』/阪神百貨店ハローカルチャー

2023 『命をつなぐ・グラフィック展 』/京都府立植物園

『Art Continuation Project Vol.3』/阪神百貨店ハローカルチャー

『HANSHIN Art Meeting Vol.2』/阪神百貨店ハローカルチャー

『CROSSOVER vol.42』/in香港